

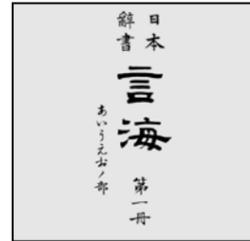
近代の国語辞書

1887 明治20 1897 30 1907 40 1912 大正1 1921 10 1926 昭和1 1935 10 1945 20 1955 30 1965 40 1975 50 1985 60

●1889~91年

言海（4冊）大槻文彦

近代的国語辞典の先駆け。
1875年（明治8）文部省の命により作り始める。



●1932~37年

大言海（5巻）大槻文彦

言海の増補改訂版。用例や語源的説明を増強した。

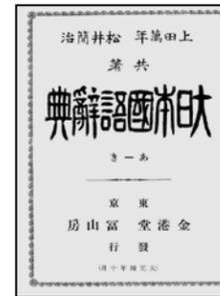


●1915~19年

大日本国語辞典（4巻）

上田万年/ 松井簡治共著

上代から現代までの一般語、学術用語、外来語、その他ことわざ、成句などを集録。豊富な用例を挙げて出典を示した。

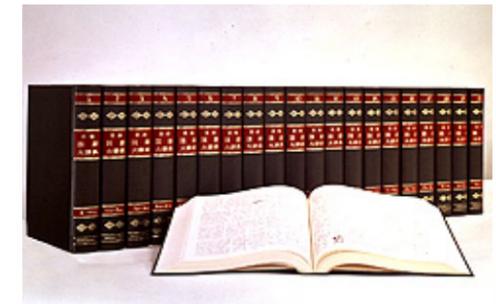


●1972~76年

日本国語大辞典（初版20巻）

日本大辞典刊行会 小学館

日本でもっとも大きな国語辞典。初版は45万語を収録し、古語・現代語・方言・外来語・仏教語、固有名詞など多岐にわたり採録し百科事典的要素も強い。



●1892~93年

日本大辞書（12冊）

山田美妙

●1912年

大辞典（2巻）

山田美妙

●1898~99年

ことばの泉（5冊）

落合直文

●1921~29年

日本大辞典 言泉（6巻）

芳賀矢一

●1907年

辞林（1冊）

金沢庄三郎

●1925年

廣辞林（1冊）

三省堂編修所

●1934~36年 大辞典（26巻）

平凡社

●1935年 辞苑（1冊）

新村出

●1955年 広辞苑（1冊）

岩波書店

●1943年

明解国語辞典（1冊）

金田一京助（見坊豪紀）

●1960年

三省堂国語辞典（1冊）

見坊豪紀

●1956年 例解国語辞典（1冊）

時枝誠記